

令和4年 第3号

子の監護に関する契約公正証書

本職は、当事者の囑託により、次の法律行為に関する陳述の趣旨を録取し、この証書を作成する。

第1条 ○○○○（以下、甲という）と○○○○（以下、乙という）は、令和4年○月○日、両名間の未成年の子、長男○○（平成25年10月15生）の親権者を乙と定め、乙において監護養育することとして協議離婚することを合意し、かつ、子の監護に関して次条以下のとおり合意した。

第2条 甲は乙に対し、養育費として令和4年○月から、長男○○が満20歳に達する日の属する月まで、1か月金○万円の支払い義務のあることを認め、これを毎月末日限り、乙の指定する金融機関の口座に振り込んで支払う。振込手数料は甲の負担とする。

第3条 甲は、本契約第2条による金銭債務を履行しないときは、直ちに強制執行に服する旨陳述した。

本旨外要件

東京都杉並区・・・

会社員

甲 ○○○○

昭和○年○月○日生

上記の者は印鑑証明書の提出により人違いでないことを証明させた。

東京都練馬区・・・

パート

乙 ○○○○

昭和○年○月○日生

上記の者は印鑑証明書の提出により人違いでないことを証明させた。

上記各事項を列席者に閲覧させたところ各自これを承認し次に署名押印する。

○○○○ ④

○○○○ ④